



01 オックスフォード

国産オールハンドメイドビジネスシューズ

商品番号 PP0148-05978

一括価格 46,200円(税込)

郵便分割価格 48,400円(税込) (毎月6,050円×8回)

●タイプ番号/01 オックスフォード、02 スエード ●サイズ番号/別表参照 ●素材/アッパー・アウトソール・ライニング:牛革 ●日本製 ●重さ(約)/01 480g(片足27.0cm)、02 600g(片足26.5cm) ●かかと高さ:約3cm ※職人手作りのため、お届けまでに45日ほどかかる場合がございます。

サイズ番号	05	06	07	08	09	10	11	12	13
サイズ	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	27.5	28.0

(cm)

一世紀以上前に誕生し、現在も世界中の靴職人たちに受け継がれている。それは日本においても例外ではない。

英国伝統 Goodyear Welted

1875年、産業革命の渦の中にあつた靴業界に新しい風が吹く。仕掛人はチャールズグッドイヤーJr. 偉大な発明家を父に持つ彼は、その父ゆずりの頭脳で英国に古くから伝わる製靴法の弱点を改善し、より効率的で質の高い靴を作る方法を考へつた。現在に伝わる「グッドイヤー・welt製法」である。

英国の靴職人は腕が立つ。が、当時は多くの作業を人間の手だけで行っていたこと、そして各工房が分業制だったことから、質のばらつき、時間のロスが生まれていた。そこに目を付けた彼は職人の技術を根底に、独自開発した専用機器(ミシン)を導入する。これにより作業効率は格段に向上、難しい縫製も難なくこなすことができたのだ。

だがここで注意してほしい。それは今という量産型の生産方法と混同してはいけない、ということだ。効率が上がったとはいえ、職人がこなしてゆく工程は実に複雑。ゆえに時間も経費も多くかかるのである。これは現在のグッドイヤー製法が、高級靴の部類にランクしている理由のひとつと言えるだろう。

さて、舞台は19世紀の英国から21世紀の日本へ。休日ふらりと専門店に足を運べば、魅力的な靴たちが所狭しと並べられている。そんななかでご紹介してきたグッドイヤー製法の靴は多くあるが、何を基準に選べば良いのだろうか。重要な点は「日本人の足に合っているか」ということ。そして「見た目・デザイン性」もはずせないところ。そうならば日本人の足好みを知り尽くした、日本の職人が作った品がベストと考えた。今回はその点を基準に選んだ2足をご紹介したい。

美しい顔立ちのオックスフォードタイプ。男性的でなおかつエレガント。特徴的な艶やかな光沢はこころ一番、というシーンに良く映える。そしてシックなスエードタイプ。これはなんともいえない色気と気品が漂っている。足下をキュッと締める存在感は、スマートなジーンズスタイルにも合いそうだ。また「靴の生命は中底にあり」というがその通り、両タイプ共通してクッション材に使用されているコルクが、地面から伝わる衝撃を緩和し歩行を快適なものにしてくれる。さらに当製法は中底が壊れない限り何度でもリペアすることができ、気がつけば長い付き合いとなる一足ものだろう。日本の職人により200以上の工程を経て完成となる一生ものの靴。一足、手元に置いてみてはいかがだろうか。(OS)



革は自然素材。原皮はそれぞれに特性があり、部位それぞれに方向性がある。厳選された革一枚一枚を丹念にチェックし、パーツを型入れし、切り出していく。



細部は職人の手縫いによって仕上げている。この品質への追求が丈夫で安定感のある履き心地を生み出す。



機械では見つけられない、かすかな汚れがないか、最後の最後まで職人がチェック。長年の経験に培われた匠の確かな目が最後の最後まで厳しく光る。

グッドイヤー・welt製法

説明

他の製法の中底は裁断したままの状態だが、グッドイヤー式は中底につけられた「リブ」と「アッパー」をすくい縫いしたあと、「中物」と「シャンク」(靴の背骨をなす芯材)を詰めて、「表底」と「細革」を出し縫いする。他の製法にはないリブと細革が、製法ならではの履き心地の良さを秘藏する。

特徴

グッドイヤー式の特徴は中底にある。中底がしっかりしているため構造的にも丈夫で安定性がある。他の製法よりも中物をたっぷり入れられるため衝撃を吸収しやすく、長時間歩いても疲れにくいという長所も。また地面から中底面に達する縫い目がないため耐水性が良いといえる。



02 スエード



0800-888-1111 (24時間受付) つながらない場合は 098-860-4596

ご注文はスピーディなFAXでも承っております。ハガキに必要事項をご記入になり、お申し込みの面のみをFAXください。●印刷の都合上、商品の色合いが若干異なります。●お申込み・送料についてはカタログ91ページをご覧ください。

